

# 会 議 録

## 1 会議名

平成26年度 第1回金谷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 金谷区の課題について（公開）

(2) 平成26年度 地域協議会委員研修等について（公開）

## 3 開催日時

平成26年4月23日（水） 午後5時58分から午後7時9分まで

## 4 開催場所

上越市福祉交流プラザ 第1会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：石黒正勝、市村政則、上野 弘、川住健作、小池茂彦、高橋敏光、  
高橋日出男、高宮宏一、竹内恵市、田村恒夫、樋口泰斗、山口茂幸、  
山崎四十四、山下 洋

・事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、森田係長、敷波主任

## 8 発言の内容

### 【敷波主任】

それでは、定刻前ですが、皆様お揃いになりましたので本日の出席人員の確認を行わせていただきます。本日は石川委員、吉越委員から欠席の御連絡をいただいております。本日の出席人員は14名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることとなります。田村会長よろしく申し上げます。

### 【田村会長】

はい。会議が成立するという事ですので、第1回金谷区地域協議会を開会いたします。初めに、本日の議事録確認者についてですが、高橋敏光委員、高橋日出夫委員よりお願いいたします。

では、次第2「議題等の確認」について、事務局からお願いいたします。

【橋本センター長】

— 資料・議題の確認 —

【田村会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、次に次第3報告(1)「平成25年度地域活動支援事業の完了について」に入ります。

事務局から報告をお願いいたします。

【橋本センター長】

— 資料に基づき説明 —

それと、前回の協議会の完了報告で御質問をいただきました、「休耕田を利用した稲作学習推進事業」の面積、収穫量について、耕作面積ですが約800平方メートル、この耕作地からの収穫量は約300キログラムとのことですので併せて御報告をさせていただきます。以上です。

【田村会長】

はい、ありがとうございました。

只今の報告について、御質問のある方、挙手のうえ、御発言をお願いいたします。

よろしいですか。次に進みますが、よろしいですか。

(よしの声あり)

以上で、次第3(1)「平成25年度地域活動支援事業の完了について」を終わります。

では、次に次第4議題(1)「金谷区の課題について」に入ります。この協議に関するこれまでの経過について、事務局から説明をお願いします。

【橋本センター長】

— 経過などについて説明 —

【田村会長】

はい。それでは、これまでの協議についてですね、経過について御質問がありましたらお願いいたします。経過についてよろしいですか。

(よしの声あり)

はい。では、資料2を御覧いただきたいと思いますが、皆さんから挙げていただいた地域の課題であるわけです。ま、いずれも解決すべき地域の課題ですが、先日正副会長で事前に打ち合わせた中で、これらの中から具体的に改善策を提案するのは、なかなか難しいのではないかというふうに感じています。皆様方としてのお考えをお伺いしたいと思います。どうぞ。はい、上野委員。

【上野委員】

何を言っているかちょっとよく分かんないんですけど、今会長さんおっしゃったところがよく理解できなかったんです。

【田村会長】

はい。

【上野委員】

正副会長さんでお話になられたということで、その後のおっしゃったことがよく分からないんですね。

【田村会長】

具体的に、これこれこうだということまでなかなか話ができないな、ということです。これ課題として挙がってますよね。じゃ、これを例えば1番の排水路をどこどこで、どういうふうにしてやって、市の、行政に対してどうやるかということも含めて、なかなか煮詰まる話ではないかと。難しいっていいですかね、まあそういう意識あったんです。

【上野委員】

はい、了解しました。

【田村会長】

はい、竹内委員。

【竹内委員】

一ついいですか。この間の別の組織の市との打ち合わせ会の内容を見ると、自分の地域はある程度分かるんですけども、他の地域のこの問題やったときに、さっきの上野さんの話じゃないが、いったいどこにある、何なにがどうなってるのかっていうのがよく分からなかったのので、これからはもう少し具体的にどこの何がどうなってるのかっていう説明をしていただくと、金谷区は大きいですので、その地域の方は分かるけども、委員全体で理解はなかなか難しいなというふうに感じました。以上です。

【田村会長】

はい。今竹内さんが言われたような、そういう中身でいいと思います。実際、じゃあ進めていく場合にどういうふうにわれわれは考えていったらいいのかということになるかと思うんですが。はい。上野委員。

【上野委員】

よろしいですか。

【田村会長】

はい。上野委員。

【上野委員】

今、例えばですね、ちょうど1番のAのところ、北部のところ、豪雨時で排水路があふれることがあるので、雨水排水路の整備が必要であるというふうになったことについてなんですけど、実はですね、私、大瀬川改修期成同盟っていう同盟会の一員でもあるんです、滝寺というところは、大瀬川に面してますので。

そこでですね、やはり御殿山から排水が流れて、工事が成されていて、それがですね、最終的に大瀬川に繋がるんですけど。そうしますとね、土橋の町内がもしかすると大量に雨が降った場合にですね、大瀬川に入り込む場所が溢れてしまって、もしかすると土橋に流れ込むかもしれないっていうことが、去年の話題になっているんです。去年の総会ですね。で、それに対して、検分というときに、県のほうの方と一緒に歩きながら見たんですが、県の管轄の範囲じゃないということが分かりまして、それで市のほうの管轄なんだということが分かったわけなんですけど、そうすると市の下水道課になるわけですね。下水道課のほうにちょっと打診してみま

したら、下水道課のほうも、地域の方からそういう話が来てて、ちょっと検討しているんだという、調査してるんだということがあったんです。ですので、それと似たようなことなんじゃないかなあと思うので、直ぐに直せということではなくて、市としてどう思ってるのかとか、ということをお聞きをするという活動もあってもいいんじゃないかと。直ぐに直すとか直さんとかでなくてですね。あるいはこうして欲しいんだという要望というかな、そういうものも私らの活動の中に入っているといいんじゃないかなと、ちょっと思ったんですが。直ぐに改善をするとかしいとかではなくてですね。以上です。

**【田村会長】**

はい。今、上野委員からですね、実際の大瀬川を含めて、いろいろ経過をお話いただいでですね、実際に市としてどういう方向で進もうとしているのかと。これは県の絡みがありますけどね、まあ、そういうことを先ず聞いたらどうかということですね。

**【上野委員】**

いや、今ちょっと関連で話した、例として出したんですが、この昭和町1丁目、2丁目のことに対して市はどんなふう考えていらっしゃるのかなということをお聞きをするということだけでも、私らの活動になるんじゃないかなということでも申し上げたんです。

**【田村会長】**

はい。今の上野委員のお考えを含めて、皆さん方のお考えをいただきたいと思います。どうぞ。はい、石黒委員。

**【石黒委員】**

すいません。基本的なことで申し訳ないんですが、昨年ですかね、山麓線ずっと工事をやりましたよね。あの工事とこの大貫地区のこの雨水の関係、どうリンクさせていったらいいのか、そして更にこの工事がですね、どの程度まで進捗状況になっているのか、その辺もし分かればお聞かせいただきたいと思います。

**【田村会長】**

山麓線の工事ってのは、側溝の関係ですか、神山からの。

【石黒委員】

そうでなくて御殿山から。

【市村委員】

御殿山からのあの排水路。

【田村会長】

都市下水路。

【石黒委員】

はい、そうです。

【田村会長】

都市下水路の関係かな。

【市村委員】

地域振興協議会でこの間話を聞いたやつですよ。あれはまだ、山麓線の工事に絡めてあの周辺を工事は終わったけども、まだその先まだやってないよということで、今年度も引き続き工事をやりますよという話をしてましたよね。今まあ、ちょっとこの（昭和町）1丁目、2丁目为例に出たのでちょっとあれなんですけども。これも地域振興協議会のほうからも出ている問題で、こちらで提案する、ここの協議会で提案するには何かやっぱり形を作って提案しないと駄目なのかなという意味合いもあるんで、今先ほど上野さんがおっしゃったように単純に、どんな方向で進んでいるんですかっていう質問形式でいいのであればこういう形でもいいのかなと思うんですけども。

形を作って、こうやりましょうという提案となると、ちょっと難しいなど。最初に会長がおっしゃったように、具体的な形としては持って行きにくいなののは多分そうだろうと思うんですが。で、これこの間、別の組織で地域振興協議会でもちょっとこれお話しして、これ要するに県が管理するところと、市が管理するところと、用水組合が管理するところと複雑に入り混じっている今排水路なんですよ。で、どこがやるかという話にはおそろくならないんで、この間もちょっと市のほうで回答してたのは、調査いたしますというような返事だったんで、それはそれでやっていただければいいかなあというふうに私のほうでは理解しているんですけど

も。

確かに、ここら辺のは、ほとんど全部大瀬川に入っちゃうんですよね。その大瀬川のエリアの人たちが、今度こっちが良くなっても向こうが困るというような状態が出てくれば、その辺全体的に見て調整するのは、市の全体的に見てやる、あれは道路課になるのか、土木課になるのか、どっちでやってるのか分からないけど、その辺で調整するんだらうと思うんですけれども。確かにちょっと前までは、いわゆる藤巻のあの辺、元のナルスのあったあの辺、しょっちゅう水着いていてたんですね。あれ大瀬川の氾濫なんですけども。ま、そんなようなこともあるんで、ちょっと具体的にどうこうせいっていうのはちょっと難しいかなあていうのが感じですけども。ただ、方向性を聞くだけだったらできるのかなと。

**【田村会長】**

まあ、行政とのね、対話っておかしいけども。まあ金谷区には、これこれこうゆう課題があるんだと。今、じゃあ、上越市としてどう考えているんだと。ま、今都市計画から始まってね、下水道計画も皆こう一緒になっちゃうから、あれなんですけど、その辺やっぱりある程度こう絞って行くというか、勉強会をしながら進めていかなきゃいけないということになりますよね。

**【田村会長】**

はい。高橋委員、はい。

**【高橋敏光委員】**

すいません、御殿山って話もだいぶ出てますけれども、これ御殿山だけじゃなくて昭和町1丁目、2丁目もそうだし、それから大貫全域なんですけども、昔から田んぼやってたときの用水、これ昭和町のだ真ん中にも2本か3本入っていると思いますけど、底なしの側溝入ってるでしょ。50cm位の幅の。あの整備というのは、私10年ぐらい前から、そのころまだ用水組合、それから中江用水もあったんで聞いたら、私らは水だけ管理しているだけで、用水が汚れたとかそういうのじゃなくて、田んぼを作る為の水の流れはどうかだけ見ているんだという返事でもって、全然話に乗ってくれなかったんですわ。まあ、その役員の中には飯の人で私もよく知っている人いるんですけども、そういう返事で頭にきたなと思って、それでいろいろ

ろあれしたら、今度、中江用水のほうが、今上越市のほう合併しましたのでね、全然水の管理を皆統一して一か所でやっていますけども、その人が、まあうちの町内で言うと、御殿山の山麓線から東側と西側とちょっと分かれてんですけども、西側から山麓線をまたがっている排水路があるんですけども、それがローソンの裏のところまで行ってるんですけども、それが山麓線つくったときにりっぱな土管でなつたんですけども、つぶれちゃって用足りない、でそうかって山麓線を掘り返しても、相当の金かかるし期間もかかるんで、ちょっと無理だなということでもってローソン側のほうだけ1本だけちょっとコンクリートしてもらったところあるんですけども、まあ、順次やっていきますってけど、それっきりで終わっちゃってるんですけども。そんなことで、古いたんぼにける水のための用水、それから排水路の関係が、全然農家の組合とか、それから中江用水さんが手をかけてなかったために、今みんなそれが宅地造成されて、多分家庭の水とその用水と2段になっている町内側にはありますわね、作りが。家庭用のやつは上にあって、下にその用水の、それが今そっちへ流れてるとこ私確認できないんですけども、全体不要になった用水を手放されちゃって、そこがその水溜まるのと泥が溜まるのが多くて底も浅くなってきて、洪水になるという原因が非常に多いと思うんですわ。で、そんなことで、又そろそろ相手と話さなきゃいけないと思うけども、本当に2年ぐらい前だと全然相手なんかもいなくなっちゃって、どうにもならないというような状態なんで、これやっぱり協議会の力をお借りしまして、そこら辺の維持管理のほう、誰を相手にすればいいのかってちょっと調べてもらって、どういう管理をされるのかどうかというのを全体で聞き取れば安心かなと思っています。掛け合いする先がもう無くなっちゃってるんですわ。

そんなんで、まあ一応、これ重大事項にしてもらって、市のほうと県のほうは多分もう入ってないと思いますけれども、そこら辺の興味をばここでもってお話聞かせてあげれば、助かるかなと思います。

#### 【田村会長】

はい。今排水路の関係で各委員からいろいろお話を聞いたんですが、今金谷区だけじゃなくて、上越市全体でね、都市計画としてこういうふうにすると、公共下水



道をこれこれこういうふうに進めていくんだということが全体でイメージが沸かないと、なかなかここだけっていうとね、あれですけど、ただ、そういう全体の中で金谷区でこれこれこういうことしたら、良い解決方法はあるんじゃないかということを皆で探し合うっていうことも、この金谷区としての委員の皆さんのまた一つの力量にもなると思うんですよね。まあ、その辺がここで直ぐ解決するものじゃないんですけど。ま、そういった方向で、例えばこの課題、排水路の整備ということもですね、これこれこういうことでもっと金谷区としてはしっかりやっていきたいんだよということをもっと行政にピーアールするっていいですかね、アピールするっていいですかね、まあそういった形でこの課題を一つ受け止めて行けばいいんじゃないかなと。まあ、この排水路の関係についてね。じゃあ具体的にどうだっていうとなかなか直ぐ今ここで、どうこうできないんですけど、これからいろいろまたそういった場所へ行って見て、ああ、こういうことなんだな、という実感が皆さん方湧いてくればそこでね、一つの方法も出てくるだろうし、そういう知識をお互いに植え付けたうえで一つの方向性を出していくということで進めていければというふうに私は思っているんですが、皆さんの御意見をいただきたいと思います。はい。

#### 【高宮副会長】

私も考え方が間違っているかも分かりませんが、ちょっと確認してきたということではないので申し訳ありません。今のお話のように、一つは昭和町1丁目、2丁目はあそこ田んぼだったんですね。で、そこには稲荷中江用水さんの用水、田んぼ用に使う水を時期になると取り入れて田んぼに水を潤したというのが一点あるんですね。

それから、今御殿山さんのお話が出ましたけれども、平山、大貫、御殿山から流れて来る、これ雨水関係の排水路の問題、これが二つ目にあるんですよ。これがさっきどこまで進んでいるかっていうお話でございますけれども、今山麓線を工事しましたものをですね、飯の田んぼのど真ん中に今排水を持って行ってたんですけども、これでは駄目だということで山麓線の下を掘りまして、北飯の信号機ありますね、飯の交差点から次の信号機ですね、あそこから踏切に渡って今のこの雨水関

係の排水をもっていこうと、それを大瀬川にぶつけるということで、まだちょっと下のほうの工事はできていないっていうふうに、私見ているんですけど、もう少し完成してないと思います。

それから、雨降ってきた中で昭和町1丁目、2丁目さんが雨水の排水路があふれると、こういう問題につきましてはですね、われわれの農業用水の関係で、例えば大雨がきますと、あそこに稲荷中江用水が流れているわけですけども、下で脇野田のあそこで止めるんですよね。もうどんどん流せばいいということではなくて。ですから田んぼ、あれを止めないと田んぼにも要らない水がいっぱい来るということで、ま、今度見ていただければわかると思いますけれども。溢れるような水は絶対にこない、遮断してしまいます。それから町内に流れていく水もストップされるというような形になっているかと思います。ただ、問題は大貫、平山から流れてくる雨水関係の水、これがどこにも行きようがないというところです。ただ、田んぼ用の用水も取り入れていくときに要らないのは排水から出ていくわけですよね。それが最終的には大瀬川のほうに落ちてくということですから、ま、量的には多くなるというようなことだろうと思います。ゆうようなのがあそこの一つの地形の流れなんですけども、今の雨水関係ってのは山麓線を持って行って、北飯のところから真っすぐ踏切に持っていく工事を今やっている。ですから、昔のように田んぼの中をぐるぐる回っている、あそこには流さないようになるかとは思いますが、はい。

それから、今大貫地区内のほうはね、ちょっとあれが今遮断されてるっていうような話がありましたが、それはそのとおりだと思います。というのは、あそこに稲荷中江用水が流れてますから、そこから水が採れるようになっているかと思うんですよね。というようなのが現状じゃないかなと、これも私稲荷中江用水関係、関川水系関係、あるいは飯の集落のほうに確認をとってないんですけども、私はそういうふうに理解して、今も田んぼをしているというような状況ですね。

#### 【高橋敏光委員】

すいません、今の話は、私申し上げたのは御殿山、大貫の雨水幹線の工事じゃないんですわ。だから、溜まっちゃうんですよ。

あれを解決すれば、要するに御殿山は雨水幹線ね、下水道ってのは五号排水、御

殿山に入ってますけれども、あのほうが解決すると思うんですわ。だけど、例えばその東側のほうの田んぼの、昭和町1丁目、2丁目とかって、ほんの田んぼにかける用水の狭いのが何本も街の中走っているのを知っているでしょう。あれが多分溜まるんだと思うんです、あれが流れないで。だからそれは雨水幹線の御殿山、大貫の雨水幹線の今工事やってるあれと全然関わりないし、それから、関係ないですわ。で、今大瀬川の下の方から工事やっていくからだんだん上へ来て流れてるんだというから、大瀬川の出口のところ終わるんじゃないですかね。大瀬川の出口は終わって、水ってのは下の方から工事していかなければならないって、私らずーともう10何年も待ってる話で、やっと飯のあっこら辺まで来た。もう4年ぐらいもって大貫あたりまで終わるなと思ってるんですけど。それは大瀬川の出口から工事やってるって話ずっと聞いてました。

**【高宮副会長】**

もう少し大瀬川と今の飯からいっているところの接続がまだなってない、という部分ですね。で先般、山麓線上の下、片側2車線になったかと思うんですけども、あそこが工事終わりましたですね、で、あそこまでのトンネルができてはいるはず。

**【高橋敏光委員】**

北飯でしょ。

**【高宮副会長】**

北飯のあそこまでね。

**【田村会長】**

はい。いろいろ議論が進んでるんですが、一応ですね、地域協議会として例えば排水路の整備について、どういうふうに具体的に自主的な事業にしていくかということですね、今後検討していかなければいけないと思うんです。今言われたいろいろな情報をわれわれが頭に入れて、そのうえで自主的な事業をやってこれこれこういうことを先ずやれよと、ね。いうことを提言するとか、そういった方向で進んでいくべきではないかと、私は思ってるんですが。皆さん方が今ここでもって論議をしてもね、限られた時間ですので、なかなか進まないと思いますが、こういった論議をこれから、会を重ねて、お互い勉強をしながらですね、今一つの課題について

も高橋委員、高宮委員から、またいろいろの地元の皆さん方からお話を聞いてますので、そういったことをやっぱりお互い勉強していくということで今日の場合はここでちょっと閉めざるを得ないんですがよろしいですか。まあ、ここで解決する問題じゃないんですが、ただ、われわれとして自主的事業を進めるとするならば、これこれこういうことでお互い勉強していこうじゃないかと。で、その勉強した中でこういうことについて行政に話をしていこうということで進めていかないと金谷区としての自主的な事業について、これこれこうじゃないかということのははっきりと言えないということもあると思うんですよね。そういう私の意識なんですが、皆さんの御意見をいただきたいと思います。

#### 【川住副会長】

いいですか、今話を聞いていましてですね、市が担当する、そういつて町内会長がこう決める、そういったものがですね、いろいろこの1から6の中にですね、混在しているような気がするんですね。市のほうも町内会長からの申し出なら受けるけれども、ちょっと他からは受け入れがたいっていうような、例えば除雪、この中の除雪ですね、こういった問題に関してはやっぱり町内会長が一本化されて進めたほうが良いような話がですね、たくさんあると思うんですね。そういうことで、この1から6をずっと見渡しているんですが、今のこの排水路整備だとか、こういった問題は市の担当をここへ呼んで、その話を聞くことはいいんですけれども具体的に進めるのはやはり町内会長っていうか、その地域の人を中心になるべきじゃないかなって気がするんですね。そういう問題がこの駅のその整備だとか、この河川管理は自分が最初に自主提案して、現在も今年4年目になっているんですが、事業を進めています。軌道に乗って、年3回ですか、これ草刈りやって今年も町内会長との合同研修会で儀明川ダムの予定地を見ることになってますんで、その折りには多分1回目の草刈が終わって川の縁がきれいになっていると思うんですね。よく不法投棄だとかいろんな問題あるんですけども、きれいになってるところにあまりゴミ捨てないですね。私も地元ですから、儀明川ダムの予定地をずっと見るんですが、南葉山ほど不法投棄があるとは思えないんですね。今日も振興協議会のほうで話があったんですけども、南場山にえらく大きな不法投棄があると。で、市に要請して

もなかなかちょっと手に負えないような状態に陥っていると。そのような問題がね、こうゆう協議会の中で審議されるべきで、その家の前の除雪云々っていうのもそちらのほうへ、町内会長が担当するべき仕事は任せたほうがいいんじゃないかなって気がするんですよ。で、全体的な話は聞くのはいいんですけども、任せるべきものは任せてですね、われわれが討議するのはその具体的な、例えば除雪の中でも、ここは誰もやってくれないからどうしようとか、そういう問題を討議するのはいいんですけども、そういうことでこの内容をですね、少し整備していかないと広がり過ぎて、町内会長が担当するのか、振興協議会で取り上げるべきなのかということをもう一度見直す必要がある時期に来ているのではないかって気がするんですね。まあ、そういうことで今後進められたらどうかなっていう気がします。以上です。

**【田村会長】**

はい。川住副会長のほうからも御提案があったんですが、皆様方の御意見をいただきたいと思います。はいどうぞ、小池委員。

**【小池委員】**

このですね、活動をどうするかっていう話は決まっていることですよ。特にこれを拡大するとかしないとかっていう問題じゃなくて、要するにある項目に関する提案は受け付けますよ。で、それで決めてくださいと。で、市のほうからの諮問もお願いしますと。それ以上の活動できないことになっていますよね、もうね。ですから例えば、今ちょっとデータの中にそれが引かかるかどうかは分かりませんが、その今のいろんな問題点があって、町内会長の団体でやってるものもあるし、それから、何とかかんとか期成同盟会でやってるものもあるし、そういった団体がまだたくさんあるわけですね。で、その辺の団体のものは、この地域協議会では特に取り上げられないですよ、それはもう。ただ、今上野さん言ったように、そういう問題がどうこうしてくれっていうんじゃないんですけども、その進行状況どうなってるかぐらいは協議会としてですね、聞いてもいいんじゃないかっていう、そういう、多分、程度の問題しかだめだと思うんですよ。もうすでにこの協議会の前にいろんなその地域の問題についてはですね、ことある毎にいろんな団体がも

うできておりましたね、それが直接その担当部署へですね、行っておられたり、まあ、高橋さんがちょっと言いましたけども、その相手がいなくなったってのもあるのかもしれませんが、そういうことですね、まあ、ニュアンスとすればね、この問題をどうのこうのっていうことを解決するための協議会じゃなくて、要するに、その期成同盟会みたいな協議でなくて、ただ、今出ましたけど、この中に町内会長をやっている方もいらっしゃるし、やってない方もいらっしゃる。で、それについてですね、じゃやってもらえる方はどうなんだっていうことになっちゃうと、それはまあ、町内会長をやればいいんだってだけの話ですね、じゃあ町内会長はそういったそのとこへ直接行って聞いてみて、それからまあいろんな団体があればですね、団体に聞いてみて、住民の皆さんにお知らせするというようなことなんでしょうけども、ただ、そういったことでない方もいらっしゃるってですね、まあ、この協議会の結果をじゃあどうなんだと、どうだったんだというふうに逆に聞かれたときにね、町内のほうからですね、いや、こういう話があって、まあ、その地域協議会の趣旨としてはこういう趣旨なんだけども、それについて町内会長だとかに入っている方にもですね、広く知らしめて勉強していくんだと、そういうことをやっているんだしたらまだ分かるんですけど、その、ま、この要望ってのはほとんど地盤整備の関係なんですね。地盤整備だとか維持管理の管理に関する問題しか挙がって来てないんですね。それがまあ、文化だとか歴史だとか、それから伝統だとか、そういったものに関するこの協議会の提案でしかないんで、私も出しましたけれども、除雪がどうのこうのっていうね、ことについてはね、これは多分この協議会でどうのこうのっていう問題ではないんじゃないかと思います、確かにね。ただ、地域の皆さんの意見を聞きますとね、聞いて来てここで話すのはそういう話が多くなっちゃうってのが事実だと思うんですよ。ですから、まあ、元に戻りますけれども、じゃ協議会の今後の活動としてですね、こういう問題が出てるんだけど、この協議会としてはどうのこうのとは言えないんだけども、状況ぐらいはどうなってるのぐらいをですね、問いかける活動をしていいんじゃないかという趣旨じゃないかと思うんですよ。そのような程度しか多分できないと思うんですね、活動としては。それと、まあ、会長もおっしゃたように勉強会を開くとかですね、そうい

うふうな活動の中で自分の地域を見つめていく。それぐらいしか多分ないんじゃないかという気がするんですけどもね。

【田村会長】

はい。ま、今いろいろ御意見出ているんですが…。はい。

【高橋日出男委員】

もう一点いいですか。あまりにその区の範囲が広くてですね、問題を共有するのにちょっと私自信が戸惑いを感じているんですが。例えば、先ほどから出てる排水路の堰のほうですけど、これは何らかですでに工事が始まっているというふうに言われたんですが、もちろん市のほうの関係でやられていると思うんですが、それがここの排水路整備として取り上げたね、昭和町1丁目、2丁目の溢れる水を食い止めるっていうか、無くすることに繋がるのか、大貫地区も同様ですよ。今何のためにその工事をやってんのか、その工事をやったことによってこの排水路整備を解決するのに繋がっているのか、それさえですね、ちょっと分からないわけですよ。なんで、協議会としてこれ以上どうやって問題提起を続けていくのか。もうすでに事業は始まっているというのはですね、これにイコールで結びついてくるのかすらちょっと分からないもんですから。その辺もですね、何らかで、そういう計画なりを自分自身知らないとはですね、これ以上じゃあ、この問題についてどうするんだというこの意見すらちょっと私は見出せない状況にあるんですよ。そういうことがちょっとあります。

【田村会長】

はい。いろいろ御意見も出ているんですが、今1番から6番まで、われわれとして防災について、いろいろ自主的な意見として出して来たわけですが、これはまあ、全体的に共通して、金谷区としての共通した中身としてお互いに認識できたと思うんですが、後それぞれ課題はあるんですが、ある程度限定される場所もあるんですよ。ですから、それはそれとして、こうゆう課題も金谷区の中にはあるんだと。お互いにそれを勉強しておいて、またこういうことについては金谷区一つで纏まっていく、意見として出せるものがあるんじゃないかということの中を皆さん方から一つ拾い出すと言っちゃあおかしいですが、生み出していただいて自主的な

審議を進めていくということで進めて行ければというふうには思うんですが。ここで直ぐどうのこうのって言えないんですが、後からまあ具体的な動きだとか解決策が出て来たらまた御提案いただくということにして、一応今は防災の関係はね、きちんとやってきましたので、その他の課題について、また皆さん方からいろいろ勉強していただき、また金谷区として、さっき出ましたいろいろ研修なり、勉強会をしながらお互いに認識を一致して、では、これについては金谷区全体で取り組む課題、ということをごそこから生み出せばまたそれに進んで行くということで進めていければというふうには思うんですが、どんなものでしょうかね。はい、どうぞ石黒委員。

**【石黒委員】**

すいません、ここに出ている都市整備の関係で言わせていただくと、昭和町1丁目、2丁目排水路の整備が必要だと言われても、私らちょっと正直分らないんですよ。だから、現地を実際見るっていうのも協議会の一つのあれじゃないんでしょうかね。そのうえで論議を進めていくと、という方向を考えてもいいんじゃないかと私はそう思うんですが。いかがでしょうかね。

**【田村会長】**

はい。今石黒委員のほうからですね、現地を確認すると言いますか、いろいろこの課題だけじゃなくてね、この課題に出ている内容についてお互いに勉強する場を設けて、で、その中からまた生み出せるものがあれば、自主的な事業としてまた拾い上げをしていくという意識でいいですか。

**【石黒委員】**

はい。

**【田村会長】**

今ここで直ぐどうのこうのとなりませんので、そういう進め方でよろしいですか。これから長いですが。はい、高橋委員。

**【高橋日出男委員】**

私も日頃そういのは、石黒委員に大賛成なんですけど、ただここで1、2時間なので、腰を下ろした状態で話し合いを続けるよりも、やっぱり一見如かずですね、



ぐっとピンとくるものがあると思うんですよね。だから、これだけじゃなくて、やっぱりいざというときの現地視察っていうのは、自分の参考書の意味合いとしてもですね、すべきだろうと思いますので石黒委員に賛成です。

**【田村会長】**

はい。それじゃあ、あれですかね、また後ほどあるかと思うんですが、研修というのがありますよね。そういったところに、例えばこれこれこういう所へ行ってこういう勉強をしておこうとか、まあそれはいろいろあると思うんですが、まあそういう中身に繋がるということで受け止めてもいいですかね。

まあいろいろあるとは思いますが、これからの進め方についてですね、私と両副会長さんと打ち合わせしながらですね、今後進めて行きたいというふうに思いますが、よろしゅうございますか。

(よしの声あり)

はい。それとですね、既にちょっと私も申し上げたんですが、今後の7つの課題が出ていますけども、その他にまたいろいろあるとすればですね、また皆さん方から御意見をいただければというふうに思いますので、これはまた後ほど皆さん方から御意見をいただきたいと思います。一応、この項についてはこれで締めさせていただきますが、よろしいですか。

(よしの声あり)

以上で「金谷区の課題について」を終わりにさせていただきます。

では、次に次第4議題(2)です。「平成26年度 地域協議会委員研修等について」に入ります。今年度も委員研修は視察等を実施してまいりたいと思います。

聞きたいこと、行きたいこと、やってみたいことなど、今年度の委員研修または視察について御質問や御意見がありましたら、お伺いしたいと思います。

今の議論の中でいろいろ研修も含めて意見が出ているんですが、よろしいですか。また、先ほど事務局のほうでですね、研修のアンケートということで資料が出てますので。その辺ちょっと説明してもらえますか。研修の関係で。

**【敷波主任】**

はい。それでは御説明をさせていただきます。当日配布資料といたしまして、「金

谷区地域協議会委員研修視察事前調査」というものをお配りさせていただきました。これまでもこの地域協議会委員の皆さんに現地視察ですとか、研修会というのをこれまでも行ってきたところがございますが、今年度行う予定でありますこの研修・視察についての御希望あるいは具体的な内容についての御意見等をこのアンケート用紙で御希望を頂戴できればと思っております。

失礼いたしました。こちらのアンケートにつきましては御希望のある方だけではなくて、委員の皆さんそれぞれこちらの1、2と項目がありますが、御回答をいただきたいと考えております。

なお、提出期限を一応決めさせていただいております、5月2日金曜日ということをお願いをしたいと考えています。よろしく申し上げます。

**【田村会長】**

只今、事務局のほうから説明がありましたが、この委員研修の事前調査ということで、皆様方からお名前も含めて御提案いただいて、これをまとめる形ですね、正副会長で方向性も含めて進めて行きたいというふうに思いますが、よろしゅうございますか。

(はいの声あり)

はい。それでは、次第の4の「平成26年度 地域協議会委員研修等について」を終わります。

次に、次第5「事務連絡」に移ります。事務局からお願いいたします。

**【橋本センター長】**

はい。それでは、事務局のほうから事務連絡3点ほどございます。させていただきますと思います。

先ず、協議会日程についてでございます。次回第2回協議会でございますけれども、地域活動支援事業の審査採択を予定いたしております。で、この関係で定例では5月28日水曜日ということになりますけれども、大変恐縮でございますが、ちょっと事務処理の関係で2週間遅らせていただいて6月11日水曜日、時間を午後1時半から当会場で開催予定とさせていただきますと思います。よろしくをお願いいたします。

なお、審査採択ですので、今ほど御案内をいたしましたとおり昨年協議会で協議  
いただいて開催時間は午後1時半ということになりますので、お間違えのないよう  
によりしくお願いをいたします。また、これにつきましては、追って御案内をさせ  
ていただきたいと思います。

それと、今年度のこの地域活動支援事業についてでございますけれども、御案内  
のとおりこの4月1日火曜日から募集はすでに開始されております。申し込みの締  
め切りは5月9日金曜日でございます。地域の団体等への働きかけあるいは早めの  
申請等につきまして委員の皆さん方からも見込みのある団体とか実際に活動して  
いらっしゃる団体のほうに御周知のほうをお願いをいたしたいと思えます。

それと、最後三点目でございますけれども、まちづくり市民意見交換会というも  
のがございます。これはすでに市の担当課のほうから直接委員の皆さまのほうへ御  
案内が行っているということでございますけれども、次期総合計画とそれから行政  
改革大綱、またその同推進計画の策定に向けた「まちづくり市民意見交換会」を開  
催をするということでございます。で、市の今後を方向付ける重要な計画となっ  
ておりますので、担当のほうとしては地域の情報に精通をされておられる協議会委員  
からも是非御参加をいただいて御意見をいただきたいと思いますというふうな依頼がまいつ  
ております。

意見交換会の日時については、御案内のとおりでございますが、すでに昨日4月  
22日からもう始まっております。

今後の予定といたしましては、明日、4月23日水曜は浦川原コミュニティプラ  
ザ。それから、24日木曜日は市民プラザの第1会議室。それから、その翌日の2  
5日金曜日でございますが、清里コミュニティプラザ。これはいずれも開館時間は  
午後6時半からでございます。で予定をされているということでございます。また、  
最終日の4月26日土曜日でございますけれども、午前10時から市民プラザの第  
1会議室で開催という予定となっております。これにつきましては、それぞれ同じ  
内容を会場を変えて実施するものでございまして、申込の必要はございませんし、  
都合の良い日にいずれかの会場へ御参加をいただければというような依頼でござ  
います。

以上、三点の事務連絡でございます。以上でございます。

【田村会長】

はい。只今の御説明について、御質問をお受けしたいと思います。どうぞ。よろしいですか。

(よしの声あり)

その他、委員の皆様方から御意見等ありましたらお願いしたいんですが。よろしいですか。

それでは、本日の議題は全て終了いたしました。以上をもちまして本日の会議は終わらせていただきます。ありがとうございました。

問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。